



指揮
志村 健一
Kenichi Shimura

2019-2020 Winter
ラグジュアリークラシックス
Luxury Classics

マエストロセレクト Vol.2

～日露文化交流・平和を祈念して～

2020年2月15日(土)

開演 14:00/開場 13:30

ミューザ川崎シンフォニーホール

Program

A.アルチュニアン: トランペット協奏曲 変イ長調

Alexander Arutiunian : Trumpet Concerto in A-flat major

P.I.チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.35

Pyotr Ilyich Tchaikovsky : Violin Concerto in D major, op.35

P.I.チャイコフスキー: 交響曲第5番 ホ短調 op.64

Pyotr Ilyich Tchaikovsky : Symphony No.5 in E minor, op.64

主催: 株式会社アイムビレッジ 共催: 一般社団法人東京室内管弦楽団



トランペット
津守 祥三
Shozo Tsumori

ヴァイオリン
物集女 純子
Junko Mozume

全席指定

S席 4,800円/A席 3,800円/B席 2,800円

チケット発売日 12月9日(月) 10:00～

- 東京室内管弦楽団チケットサービス 03-6459-0512
(10:00～18:00/土日祝日・12月27日～1月5日除く)
- ミューザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200
(10:00～18:00/12月29日～1月3日・保守点検日除く)
- チケットぴあ (Pコード: 171-473) 0570-02-9999

※ご予約後のキャンセル・変更は致しかねますのでご了承ください。※やむを得ぬ事情によっては曲目が変更になる場合もございます。※未就学児入場不可。



Intermezzo

休憩中、ミューザ川崎シンフォニーホール・ホールオルガニスト大木麻理さんによるパイプオルガンの演奏を予定しています。
予定曲: チャイコフスキー「アンダンテカンタービレ」(弦楽四重奏曲第1番「第2楽章」より)

コンサートによせて…

「マエストロ・セレクト・シリーズ」は、2018年の日露文化交流元年の節目に始動。これまでの日露の人的・文化的な交流を背景とした選曲である。私が、2005年に初めてサンクトペテルブルグに赴き、マイリンスキー劇場専属指揮者のアレキサンドル・ポリャニチコ氏に師事して以来、14年間でロシア全土及び、旧ソ連圏の諸国の28都市で50公演を指揮し、各地のオーケストラと共演を重ねてきた中で、私は、日露文化交流をオーケストラをフィールドとして積極的に取り組んできた。

東京室内管弦楽団と私の、日露文化交流を目的とした芸術活動は、2012年、「日本の春 in サンクトペテルブルグ」の客演指揮から始まる。翌年には、当団のプリンシパルコンダクター橋直貴と共に客演し、サクトペテルブルグ・フィルハーモニーと共演。この共演をきっかけに、翌年、同オーケストラとチャイコフスキー交響曲第4番を録音。その後、当団の演奏家のロシア招聘を開始。2015年に当団コンサートマスター小笠原伸子、フルート奏者の本田幸治の両氏を、トムスク交響楽団とノボシビルスク・チェンバーオーケストラに客演。2016年にブリャンスク交響楽団にソロコンサートマスターの物集女純子氏が客演。2019年12月、同氏とカレリア・フィルハーモニー交響楽団による録音。更に、物集女純子氏とトランペット奏者の津守祥三氏をサンクトペテルブルグ・シンフォニーオーケストラに客演。2020年には、同オーケストラが日本ツアーを予定しており、チャイコフスキーコンクール優勝者のセルゲイ・スタドレルが客演が決まっている。また、2021年には、南ウラル・フィルハーモニーオーケストラに、物集女純子、津守祥三の両氏が客演に内定している。東京室内管弦楽団とロシア各地のオーケストラによる芸術活動は、本公演のシリーズとDEGAレーベルにも紐付いている。1st アルバム「Violin Lover's」は日本とロシアで同時リリースされ、独自の国際的芸術活動を多角的に発信を開始している。

今回のマエストロ・セレクト Vol.2では、12月にサンクトペテルブルグで客演した両氏をソリストに擁立し、チャイコフスキーとアルチュニヤンの2つの協奏曲を再演。生誕100年のアルチュニヤンは、モスクワで研鑽を積んだアルメニア人作曲家で、このトランペット協奏曲は、トランペットの重要な位置付けとなる作品である。また、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲は、物集女氏が自身のレパートリーとして育ててきたこれまでの経験が結実する演奏をご期待頂きたい。チャイコフスキーの交響曲5番は、サンクトペテルブルグで何度も取り上げて来た、特別な想いがある作品。神々しく壮大なシンフォニーであるが、作品全体に漂うチャイコフスキーの絶望と悲嘆が表裏一体となっている。作曲家自身の作品に書き遺した意志を代弁する5番で締め括る。

今後も、国内外に発信すべき芸術性とレパートリーを持つ当団のアーティストは積極的に起用する方針であり、オーケストラとは、一流の自立した芸術家の集合体であるが故に、積極的な客演が各員の芸術性の向上によりオーケストラ全体の飛躍の成長に起因する。よって、創立90周年を迎えた当団が、これからの10年の「進化」の歩みの中で、独自性と存在意義を強く磨き上げ、皆様に、真のオーケストラによる感動を届ける、唯一無二となる覚悟と信念の公演であることを宣言する。

志村 健一



指揮 志村 健一 Kenichi Shimura

神奈川県出身。指揮法を秋山和慶、増井信貴、A.ポリャニチコ、V.シナイスキー、E.ニコラ、J.ピアハンスの各氏に師事。これまで、サンクトペテルブルグ交響楽団、チェコ国立ブルノフィルハーモニー管弦楽団、ソフィア・フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、日本センチュリー交響楽団、他、国内外の多数のオーケストラと共演。

客演した主な音楽祭・芸術祭は、ロシア「日露修好150年記念・日本の春フェスティバル」(2006、2007年度)、ブルガリア「ソフィア芸術祭」(2009年度)、ロシア「対ドイツ戦勝記念日祝賀行事記念演奏会」(2010年度)。2014年より「GAME SYMPHONY JAPAN」「ANIME SYMPHONY JAPAN」を始動。2018年、日露文化交流元年に寄せて、ロシア、モンゴル、カザフスタン、ペラルーシ、など21都市で31公演を行い絶賛される。2019年からチェリャビンスク・フィルハーモニーと共同音楽制作を開始する。2013年より、東京室内管弦楽団と共に、日本から世界に発信する文化・芸術として、映画やアニメーション、ゲーム等の劇伴音楽のオーケストラコンサートを数多く手掛け、2014年にはオーケストラで聴く吹奏楽(ウインズ・ミーツ・オーケストラ)を始動。

終戦から70年、2015年からは平和祈念コンサートを毎年開催するなど、オーケストラの可能性を様々なアプローチで提唱している。株式会社アイムビレッジ代表取締役。2016年より、東京室内管弦楽団ミュージックパートナー・コンダクター。



ヴァイオリン 物集女 純子 Junko Mozume

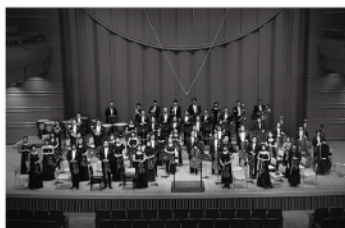
ジュリアード音楽院卒業。同大学院及びProfessional Studies修了。Gordon Violin奨学金を受け、故トローシー・デイレイン氏に師事。在学中、ジュリアード音楽院管弦楽団のコンサートマスター、またウエストチェスター響のコンサートマスターを務めた。1991年、最も期待される若手演奏家に贈られるNY Artist International Auditionsヤングアーティストデビュー賞を受賞し、カーネギーホール(ウェルリサイタルホール)にてニューヨークデビューを飾る。国内ではゲストコンサートマスターとして国内主要オーケストラに招かれているほか、ソリストとしても精力的に活動。ヴィルトゥオーソ横浜のメンバー、東京室内管弦楽団ソロ・コンサートマスターとして活動は多岐に渡る。

洗足学園音楽大学講師、横浜音楽文化協会会員。



トランペット 津守 祥三 Shozo Tsumori

埼玉県出身。3歳よりピアノ、12歳よりトランペットを始める。2009年国立音楽大学卒業。卒業と同時に弦管打楽器ソリストコース修了。平成20年度国立音楽大学卒業演奏会及び第25回ヤマハ新人演奏会に出演。同大学卒業後、尚美ミュージックカレッジ東京コンセルヴァトワール・ディプロマ科に進学し、2011年に修了。同学校の成績優秀者内の選抜によるフレッシュコンサート2010に出演。若い人のための「サイトウキネン室内楽勉強会2011」に参加。練馬区新人オーディションに合格、優秀賞を受賞。第30回練馬区新人演奏会でヘルテル作曲トランペット協奏曲第1番を東京フィルハーモニー交響楽団と共演。トランペットを津堅直弘、栃本浩規、山本英助、故・浅海伸夫の各氏に師事。室内楽を井手詩朗氏に師事。これまでにマティアス・ヘフス、ピーター・マセウスのマスタークラスを受講。現在、東京室内管弦楽団トランペット奏者。BRASS NEXメンバー。ハーツウインズ団員。



東京室内管弦楽団公式HP
https://www.tco.or.jp/

管弦楽 東京室内管弦楽団 TOKYO Chamber Orchestra

新しい「感動」と出会えるオーケストラ

1928年創立。90年に及び伝統と多くの実績をもつ代表的な室内管弦楽団です。1954年より、故いわくぼさを が代表・音楽監督指揮者となり、<求められる演奏活動>を掲げ、ジャンルの枠を超え独自の編曲による映画音楽、タンゴ、ポップス、歌謡曲、演歌、アニメ…等、いち早く採り入れ、1964年からは、全国の学校を対象に<オーケストラ鑑賞教室>を展開。以来、「教育演奏活動」は最も力を入れている活動のひとつです。海外公演に於いては、1968年、日・琉・米親善文化使節として民間のオーケストラとしては戦後初の琉・米公演を行い1975年、日・比親善公演を行うなど国際的にも活躍。1980年代後半には、ゲーム音楽の分野にも積極的に取組み録音や演奏など活動の幅を広げ、2014年には日本初のゲーム音楽専門のオーケストラ「GAME SYMPHONY JAPAN」のレジデントオーケストラとして、年間を通して定期的にゲーム音楽を演奏しているのも特徴の一つです。自主公演(定期演奏会)は、<求められる演奏活動>の理念に基づき既成の枠にとられないプログラミングで、サントリーホールブルローズ、横浜みなとみらいホール小ホールなどで年間10公演行っている。「クラシカルオーケストラ」と「ポップスオーケストラ」の両面を併せ持つ希有なオーケストラとして、温かく伝統に彩られた格調のある音色はジャンルを問わず、様々な方面から高い評価を得ております。

各種チケット割引について

*割引チケットは、東京室内管弦楽団チケットサービスのみ販売となります。お電話にてお申込みください。詳しくはホームページをご覧ください。

一般	65歳以上のお客様へ グランドシート	車椅子をご利用のお客様へ 車椅子シート	27歳までの学生のお客様へ 学生シート	ご自身の安らぎと胎教に マタニティシート
	65歳以上の方が対象 本公演は20%割引にて販売	お付き添いの方も1名様まで、 同じ料金にてご入場いただけます	お席はお選びいただけません。 公演日2週間前より残席がある場合受付。	妊娠中の方が対象となります。
全席指定	S席 4,800円 A席 3,800円 B席 2,800円	S席 3,840円 A席 3,040円 (各30席先着順)	2,000円	1,500円

Violin Lover's Variation. I

マエストロ志村健一×東京室内管弦楽団が、
ついに音楽レーベル「DEGA Records」を始動!

記念すべき1st. ディスクは、東京が世界に誇るソロ・コンサートマスター物集女純子渾身の「Violin Lover's Variation. I」。チャイコフスキーの想いが詰まったロシアで録音した「ヴァイオリン協奏曲」は、現地オーケストラと共演。
イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第4番は完全新録! 物集女純子の魅力が詰まったこの一枚、必聴!



ミュゼ川崎シンフォニーホール
〒212-8557 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
Tel.044-520-0100(代表)
JR川崎駅 下車徒歩3分、京急川崎駅 下車徒歩8分